

2020
年度

最新版
Seminar
Guide

名古屋

大阪

福岡

セミナーガイド

最新セミナー情報を掲載

お客様の「学びたい」というご要望に、いち早くお応えすべく、日本科学技術連盟 大阪事務所から大阪、名古屋、福岡で今後開催予定の最新セミナー情報をご案内いたします。

学びが企業を豊かにする

経営者から職場第一線の方々の様々な階層での「学び」を「成果」に繋げることが人材育成には重要です。他社との他流試合を通じて、より豊かな人材を育成することで貴社の持続的経営を支援いたします。



一般財団法人

日本科学技術連盟 大阪事務所

〒530-0003

大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル11階

TEL: 06-6341-4627

日科技連 大阪



新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について

日科技連では、新型コロナウイルスの感染拡大に備え、以下の対応、また対応へのご協力をいただいた上で、セミナーを開催いたします。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

●専門家会議等で指摘されている感染拡大の「3つの条件の重なり」を防ぐため、以下の対応を行います。

(1) 換気の悪い密閉空間

休憩を1時間に一回程度取り、その間ドアや窓を開けるなどの換気を行います。
空気清浄器を設置し、空気の循環を図ります。

(2) 多くの人が密集

会場定員を約3分の1に減らし、十分な座席間隔（1.5～2メートル程度）を取れるようにいたします。
机は1名につき1台ご用意します。
喫煙所は閉鎖いたします。ロビーの使用も一部制限いたします。

(3) 近距離での会話や発声

グループワークや懇親会など、近距離での会話や発声につながる行事は、実施しないか、個人ワークなど他の方法に代えて実施します。グループワークを実施する場合は、十分な座席間隔（1.5～2メートル程度）を取れるよう工夫いたします。

●参加にあたっては、参加者の皆様に以下のご協力をお願い申し上げます。

(1) 手指の殺菌消毒、手洗い、うがいの励行

(2) 「咳エチケット」の励行、マスクの着用（必須）

●セミナー等の運営にあたって

(1) 講師・職員・運営スタッフは、検温・マスク・手袋を着用させていただきます。体調管理を徹底します。

(2) 受付は極力無人（セルフサービス等）で済ませられるよう対応いたします。

(3) 会場にアルコール消毒液を設置・ご用意いたします。（状況により、在庫が不足した場合はご了承ください。）

(4) 運営スタッフは、使い捨て手袋を着け、机・備品等の消毒を行います。

(5) 以下の参加条件に適合していることをご確認ください。

以下4点につきまして、事前にご送付したチェックリストにご記入のうえ、セミナー当日（受付）にご提出ください。

①過去3週間において、37.5度以上の発熱がないこと

②過去1ヵ月海外への渡航がないこと

③過去3週間において、発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状がないこと

④過去3週間において、同居家族に発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状がないこと

(6) セミナー当日、非接触体温計を用いて検温をさせていただきます。

(7) 昼食付のセミナーにつきましては、お弁当や飲み物等の提供は控えさせていただきます。

セミナー当日、37.5度以上の発熱を確認した場合、咳などの症状が見られる場合は、参加をお断りさせていただきます。

上記参加条件に適合しない場合は、取消料規定にかかわらず、参加日程のお振替を承ります。
広報・国際グループ・受付担当までご連絡ください。

【広報・国際グループ 受付担当】

TEL: 03-5990-5849 E-Mail: regist@juse.or.jp

今後、新型コロナウイルスの感染状況、都道府県・自治体 又は 保健部局の協力要請等によりセミナー開催等が中止となる場合があります。その場合は、ウェブサイトでご案内申し上げるとともに、該当の参加者の方には別途ご連絡申し上げます。

対策例



・会場前に、アルコール消毒液を設置しています。



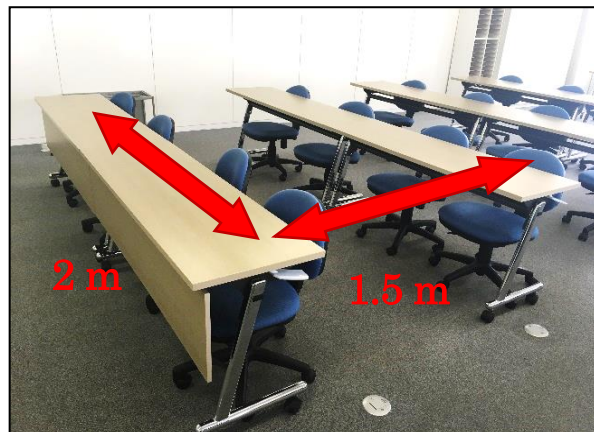
・使い捨て手袋を着け、机・備品等の消毒を行います。



・セミナー開始前に、非接触型赤外線体温測定器により検温を行わせていただきます。



・内容に応じて、フェイスシールドを使用します。



・定員数を減らすことで、座席間隔を確保します。



・各セミナー室には空気清浄機を備えています。



・飛沫感染防止のため、お手洗いのエアタオルは全館停止しています。

※講師・事務局も感染予防のため、検温とマスクの着用を行います。

※必要に応じて、参加者にも手袋やフェイスシールドの着用にご協力いただきます。

※掲載の対策例は、2020年6月時点での対策となっております。

※今後の感染状況によっては、対策内容が変更となる場合がございます。

< 目 次 （ 日 程 別 ） >

開催月	日程 (開催初月・前期日程など)	その他 (後期・継続日程など)	開催地	セミナー名称	頁
7月	7月2日~3日		大阪	失敗学と創造学セミナー	13
	7月7日		名古屋	再発防止対策の基本と進め方セミナー	15
	7月14日~15日		大阪	職場の問題解決力レベルアップコース	4
	7月14日~15日		大阪	なぜなぜ分析2日間実践セミナー	6
	7月16日~17日		大阪	部課長のための方針管理・日常管理セミナー	1
	7月21日		大阪	品質トラブルの未然防止セミナー	14
	7月28日~30日		大阪	新QC七つ道具セミナー	6
	7月29日~31日 (前期)	8月26日~28日 (後期)	福岡	QCサークル推進者コース	8
	7月29日~31日		大阪	多様な知識を統合する技術の学習と実践の講座：デザインレビュー	11
8月	8月19日~21日 (1月目)	9月16日~18日 (2月目) 9月29日~10月1日 (3月目)	大阪	Excelで学ぶ実務に使える実験計画法セミナー	17
	8月25日~26日		大阪	2日でマスターする実験計画法セミナー	16
	8月25日~26日 (1月目)	9月24日~9月25日 (2月目) 10月27日-10月28日 (3月目)	大阪	品質管理セミナー部課長コース	1
	8月27日~28日		大阪	QC手法基礎コース	4
	8月27日~28日		大阪	2日でマスターする多変量解析法セミナー	16
9月	9月3日		大阪	行為保証におけるプロセス管理セミナー	15
	9月3日~4日		大阪	あらゆる職場で役立つヒューマンエラーの原因分析・対策法セミナー	14
	9月7日~8日		大阪	設計・開発における未然防止手法セミナー	12
	9月9日~10日		名古屋	信頼性技法実践講座：FMEA・FTA	11
	9月9日~11日		大阪	QCサークルリーダーコース	8
	9月15日		大阪	失敗学実践編セミナー	13
	9月16日~18日 (前期)	10月14日~16日 (後期)	大阪	QCサークル推進者コース	8
10月	10月2日		大阪	ISO9001入門と要求事項の解説コース	18
	10月6日~7日		福岡	信頼性技法実践講座：FMEA・FTA	11
	10月6日~9日 (前期)	11月10日~13日 (後期)	大阪	品質管理セミナー入門コース	3
	10月8日~9日		大阪	QCサークル管理者コース	8
	10月8日		福岡	QCサークル活動に役立つIE・VE活用セミナー	17
	10月13日		大阪	効果的な人材育成と能力管理の進め方セミナー	2
	10月13日~14日		大阪	2日でマスターする問題解決アプローチセミナー	5
	10月15日~16日		大阪	2日でマスターするマーケティング実践セミナー	7
	10月19日~23日 (1月目)	11月16日~20日 (2月目) 12月14日~18日 (3月目) 1月18日~22日 (4月目) 2月15日~19日 (5月目) 3月15日~19日 (6月目)	大阪	品質管理セミナーベーシックコース	3
	10月21日~23日		名古屋	QCサークルリーダーコース	8
	10月27日~28日		大阪	信頼性技法実践講座：FMEA・FTA	11
	10月28日~30日 (前期)	12月2日~4日 (後期)	名古屋	QCサークル推進者コース	8
	10月29日~30日 (前期)	11月25日~26日 (後期)	大阪	品質改善のための問題解決力実践コース	4
	10月29日~30日		大阪	ISO9001内部監査員 基礎コース	18

< 目 次 （ 日 程 別 ） >

開催月	日程 (開催初月・前期日程など)	その他 (後期・継続日程など)	開催地	セミナー名称	頁
11月	11月4日～5日		大阪	実務に役立つ課題達成力向上セミナー	6
	11月5～11月6日（前期）	12月2日（後期）	大阪	係長・主任のための品質保証・品質管理セミナー	1
	11月6日		大阪	再発防止対策の基本と進め方セミナー	15
	11月10日～12日		大阪	3日でマスターする応答曲面法セミナー	16
	11月13日		大阪	現場力強化のための人為ミス未然防止セミナー	15
	11月17日～18日		名古屋	なぜなぜ分析2日間実践セミナー	6
	11月25日～26日（前期）	11月27日（後期）	大阪	品質機能展開セミナー基礎編・実践編	5
	11月27日		大阪	業務効率向上のための論理的伝達力マスターセミナー	2
12月	12月3日～4日		大阪	QC手法基礎コース	4
	12月3日～4日		大阪	Excelですぐ使える統計的手法セミナー	5
	12月8日～9日		大阪	失敗学と創造学セミナー	13
1月	1月27日～29日		大阪	QCサークルリーダーコース	8
2月	2月3日～5日（前期）	3月3日～5日（後期）	大阪	QCサークル推進者コース	8
	2月4日～5日		大阪	2日でマスターする実験計画法セミナー	16
	2月9日		大阪	失敗学実践編セミナー	13
	2月16日～17日		福岡	QC手法基礎コース	4
	2月18日		福岡	再発防止対策の基本と進め方セミナー	15
	2月25日～26日		大阪	なぜなぜ分析2日間実践セミナー	6
3月	3月4日～5日		大阪	ISO9001内部監査員 スキルアップコース	18
	3月11日～12日		大阪	改善の見える化セミナー	10
	3月16日～18日		福岡	QCサークルリーダーコース	8

＜ 目 次 （ カ テ ゴ リ ー 別 ） ＞

種類	番号	セミナー名称	開催地			頁
			大阪	名古屋	福岡	
品質管理全般						
	1	品質管理セミナー部課長コース	●			1
	2	係長・主任のための品質保証・品質管理セミナー	●			1
	3	部課長のための方針管理・日常管理セミナー	●			1
	4	効果的な人材育成と能力管理の進め方セミナー	●			2
	5	業務効率向上のための論理的伝達力マスターセミナー	●			2
品質管理手法						
	6	品質管理セミナーベーシックコース	●			3
	7	品質管理セミナー入門コース	●			3
	8	QC手法基礎コース	●		●	4
	9	品質改善のための問題解決力実践コース	●			4
	10	職場の問題解決力レベルアップコース	●			4
	11	2日でマスターする問題解決アプローチセミナー	●			5
	12	Excelですぐ使える統計的手法セミナー	●			5
	13	品質機能展開セミナー基礎編・実践編	●			5
	14	実務に役立つ課題達成力向上セミナー	●			6
	15	なぜなぜ分析2日間実践セミナー	●	●		6
	16	新QC七つ道具セミナー	●			6
経営・商品企画・イノベーション						
	17	2日でマスターするマーケティング実践セミナー	●			7
QCサークル						
	18	QCサークル管理者コース	●			8
	19	QCサークル推進者コース	●	●	●	8
	20	QCサークルリーダーコース	●	●	●	8
現場力向上						
	21	改善の見える化セミナー	●			10
信頼性・安全性						
	22	信頼性技法実践講座：FMEA・FTA	●			11
	23	多様な知識を統合する技術の学習と実践の講座：デザインレビュー	●			11
	24	設計・開発における未然防止手法セミナー	●			12
未然防止・再発防止						
	25	失敗学と創造学セミナー	●			13
	26	失敗学実践編セミナー	●			13
	27	品質トラブルの未然防止セミナー	●			14
	28	あらゆる職場で役立つヒューマンエラーの原因分析・対策法セミナー	●			14
	29	現場力強化のための人為ミス未然防止セミナー	●			15
	30	行為保証におけるプロセス管理セミナー	●			15
	31	再発防止対策の基本と進め方セミナー	●	●	●	15
実験計画法・多変量解析						
	32	2日でマスターする多変量解析法セミナー	●			16
	33	2日でマスターする実験計画法セミナー	●			16
	34	3日でマスターする応答曲面法セミナー	●			16
	35	Excelで学ぶ実務に使える実験計画法セミナー	●			17
IE						
	36	QCサークル活動に役立つIE・VE活用セミナー			●	17
マネジメントシステム						
	37	ISO9001入門と要求事項の解説コース	●			18
	38	ISO9001内部監査員 基礎コース	●			18
	39	ISO9001内部監査員 スキルアップコース	●			18

品質管理全般

(品質経営／TQM／階層・部門など)

※表示価格は全て税抜きです。

1	名 称	品質管理セミナー部課長コース				分 野	品質管理全般
略 称	MC	総日数	6 日間	参加費	【一般】158,000 円	【会員】128,000 円	
コースの概要	企業内のすべての活動は、経営に貢献するものでなければなりません。そして、部課長は組織活動の中核として、重要な役割と責務を担っています。 当セミナーでは、「組織活動の問題点」「経営に貢献する活動のあり方」「部課長の果たすべき役割とあるべき姿」などについて、今の企業や組織で「理解されていないこと」「できていないこと」などを重点的に指導し、問題解決をはかるために必要な能力を身に付けていただくことを目的としています。						
コースの特徴	■部課長としての考え方とあり方を理解してもらい、必要な管理知識を身につけていただきます。 ■講義およびグループディスカッションを通じて、実践力と推進力が養っていただきます。 ■異業種の方々と交流することによって、情報交換やベンチマーキングなど、他社から多くのことを学べます。						
第 1 回	【大 阪】	[1 月目] 8 月 25 日(火)～26 日(水)	[2 月目] 9 月 24 日(木)～25 日(金)	[3 月目] 10 月 27 日(火)～28 日(水)			

2	名 称	係長・主任のための品質保証・品質管理セミナー				分 野	品質管理全般
略 称	CBC	総日数	3 日間	参加費	【一般】72,000 円	【会員】63,000 円	
コースの概要	－ 自律的に現場を守る3つのポイント － 現場の中核となる係長・主任（監督職）の方々を対象に、現場をマネジメントするために必要とされる ①品質管理・品質保証 ②標準化の進め方と日常業務の安定化 ③問題解決 の3点を基軸として、講義とグループディスカッション（GD）を通じた基礎知識の習得と、職場の問題を実習する「個人テーマ改善」による実践能力の習得を目的としたセミナーです。						
コースの特徴	■係長・主任（監督職）として現場マネジメントに必要な知識・能力を習得できます。 ■GD では、「係長、主任として自分の職場で問題・課題になっていること」をグループメンバー同士で持ち寄り、相互に検討します。 ■「講義－演習－実践－振り返り」の“4段階学習”により、確実なレベルアップが期待できます。 セミナーで学べること  http://www.juse-osaka.html/guide/cbc.html						
第 2 回	【大 阪】	前期：11 月 5 日(木)～ 6 日(金)	後期：12 月 2 日(水)				

3	名 称	部課長のための方針管理・日常管理セミナー				分 野	品質管理全般
略 称	方針	総日数	2 日間	参加費	【一般】67,000 円	【会員】60,000 円	
コースの概要	－ 日本品質管理学会規格準拠 － TQM におけるコアツールである方針管理・日常管理を効果的に実践するノウハウを習得頂けるセミナーです。方針管理は日常管理の土台の上ではじめてその効果をいかんなく発揮しますが、そのためには、それぞれの特徴と違いを理解し、切り分けて運用する必要があります。方針管理・日常管理について「社内での推進・定着について学びたい」「より効果的な実施・活用法を学びたい」という方におすすめです。講義と演習を交えたカリキュラムにより、知識と実践の両面から学んで頂けます。						
コースの特徴	■日本品質管理学会規格「日常管理の指針」「方針管理の指針」に準拠したコースです。 ■方針管理と日常管理の使い分けを正しく理解できます。 ■TQM を効果的に進めるうえでの方針管理・日常管理の重要性が理解できます。 ■講師のこれまでの指導経験から、正しく運用できている企業の事例、誤った運用をしている企業の事例を交え、実務的な講義を行います。 ■他企業の方々と演習を通して情報交換がはかれます。 方針管理 自己診断チェック表  http://www.juse-osaka.com/guide/houshincheck.pdf						
第 1 回	【大 阪】	7 月 16 日(木)～ 17 日(金)					

※表示価格は全て税抜きです。

4	名 称	効果的な人材育成と能力管理の進め方セミナー				分 野	品質管理全般
略 称	能力管理	総日数	1 日間	参加費	【一般】 27,000 円	【会員】 22,000 円	
コース の概要	人材(社員)が企業にとって最も大切な経営資源であることは周知の事実ですが、実際の管理状況を見ると次のような問題が目につきます。 ・能力管理は行っているが、抽象的な評価基準や主観的な評価が多く、適切な評価・管理が行われていない。 ・能力管理を実際の業務運営に役立てることができず、形式的なものになっている。 ・ISO でスキルマップや能力一覧表などを作って能力管理を行っているが、形だけで実際の仕事には役立っていない。 社員の能力管理は全社的な人事管理システムの一環であり、教育・訓練とも密接に繋がっています。 当セミナーでは、形式的ではなく、本当に効果のある能力管理と人事を行うための活動のあり方と進め方を解説します。						
コース の特徴	■能力管理～教育・訓練～人員配置までの一貫した管理システムのあり方と作り方、活動の進め方を基本からていねいに解説します。 ■効果的な人材育成のあり方を、実施事例を紹介しながらわかりやすく指導します。						
第 1 回	【大 阪】	10 月 13 日(火)					

5	名 称	業務効率向上のための論理的伝達力マスターセミナー				分 野	品質管理全般
略 称	伝達力	総日数	1 日間	参加費	【一般】 35,000 円	【会員】 30,000 円	
コース の概要	－ 伝わる「言葉」で効率向上！トラブル解消！ － 仕事の中で「報告書で部下が何を言いたいのかわからなくて困った」「お客様との言葉の解釈の違いが、後でトラブルになった」というような経験はないでしょうか？日本語には「あいまいな」表現が多いことに加え、メール等の「顔を合わせないコミュニケーション」が増加した結果、「言いたいことが伝わらない・伝えられない」といったことが増え、それが仕事のトラブルに結びついています。当セミナーは、我々が日常業務で使っている「言葉」に改めて着目し、論理的な思考能力・論理的な伝達力を養成することで、コミュニケーションや業務の効率を向上させることを目的としています。						
コース の特徴	■つい“当たり前”ですまされてしまう日本語のしくみ・用法を見直し、実務に必要な要件が確実に伝達できるよう、論理的な言葉の組み立て方・伝達の仕方と、そのために必要な論理的な考え方を習得していただけます。 ■1 日で、必要な内容をコンパクトに学んでいただけます。 ■指導講師に濱口哲也氏（元東京大学大学院 特任教授／「失敗学と創造学セミナー」指導講師）を迎え、「論理・理屈だけではなく、多くの場面を想定したケーススタディにより実際の仕事に役立つ実践的なセミナー」として企画しています。 ◎ なぜ、“伝達力”が必要とされるのか？ ◎ こんな経験はありませんか？ ◎ 本セミナーが目指すもの こちらを ご覧ください！ スマホで確認 http://www.juse-osaka.com/guide/dentatsuryoku.html						
第4回	【大 阪】	11 月 27 日(金)					

雇用対策：雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金のご案内

(2019 年 11 月現在)

厚生労働省では、景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、一時的な雇用調整（休業、教育訓練または出向）を実施することによって、従業員の雇用を維持した場合に助成されます。

日科技連で開催している教育・セミナーを社内セミナーとして実施した場合に、実施条件によっては本助成金の支給を受けられることがあります。

本助成金を活用した従業員の教育訓練実施については、品質経営研修センター 営業・企画グループへご相談ください。

なお、助成金に関する詳しい情報につきましては、最寄りのハローワークへお問い合わせください。

6	名 称	品質管理セミナーベーシックコース				分 野	品質管理手法
略 称	BC	総日数	30 日間	参加費	【一般】558,000 円	【会員】498,000 円	
コース の概要	－ 品質管理検定（QC検定）1級レベル対応 － 品質経営には欠かせない、統計的解析力を持った品質管理のエキスパートを養成する、わが国でもっとも伝統と実績のあるコースです。当コースは、高い企業競争力をつけるために、経営上の重要問題・課題をしっかりとらえ、これを次々と鮮やかに解決していく技術者・スタッフを養成することを目的としています。独創的な新製品・サービスを創造できる技術の革新、人づくりの革新を強化して、日本の優れたものづくりを継続的にを行い、グローバル競争を勝ち抜くために、ぜひ当コースをご活用ください。						
コース の特徴	■品質管理の基礎となる統計的方法を、理論と実践を融合した形でキッチリ学ぶことができます。 ■品質管理活動として実施しなければならない活動要素をコンパクトに習得できます。 ■宿題演習、ケーススタディ、QC ゲームなど、多様な教育方法を通して幅広い知識と応用力を習得できます。 ■豊富な事例・経験を持った講師の実践的な講義や指導を受けることができます。 ■個別改善テーマについて、経験豊富な講師の指導を受けながらテーマ解決を行うこと（班別研究会）で、問題解決力が体得できます。 ■品質管理の要素技術に関して全領域をカバーした的確・実践的でわかりやすいテキスト（27冊分）が完備されています。 ■IATF16949（自動車産業のセクター規格）やシックスシグマで活用されている手法はほとんどカバーしています。 ■当コースをもっとも優秀な成績で修了された方にはBC賞、上位で優秀な成績で修了された方には優秀賞を授与し、自社での活躍はもちろん、将来の講師としてもご協力いただいております。 ■品質管理検定（QC検定）1級を受検される方には、最適な内容となっています。 参加者特典として当コース限定「QC検定1級問題解説書」を進呈します。 ■計30日間のいずれか1日を無料で見学していただけます。 品質管理エキスパートの育成を 実現する“7つの特徴” こちらを ご覧ください！ スマホで確認  http://www.juse-osaka.com/guide/bc_characteristic.html						
第138回	【大 阪】	[1月目] 10月19日(月)～23日(金)	[2月目] 11月16日(月)～20日(金)	[3月目] 12月14日(月)～18日(金)			
		[4月目] 1月18日(月)～22日(金)	[5月目] 2月15日(月)～19日(金)	[6月目] 3月15日(月)～19日(金)			

7	名 称	品質管理セミナー入門コース				分 野	品質管理手法
略 称	QC入	総日数	8 日間	参加費	【一般】140,000 円	【会員】120,000 円	
コースの概要	－ 品質管理検定（QC検定）2級レベル対応 － 品質管理部門、技術部門をはじめとするあらゆる部門の方々が統計的品質管理の基礎を短期間に学ぶためのコースです。品質管理の基本概念を理解し、統計的方法を中心とした基礎手法の理論と応用、解析手法の基礎が習得できます。講義に合わせた時間内演習や宿題、試験により、理解を深めることができます。						
コースの特徴	■品質管理の基本概念、統計的品質管理の考え方、基礎的手法を短期間で効率的に習得できます。 ■講義に合わせた時間内演習、宿題は、内容の理解を促進します。 ■品質管理検定（QC 検定）2 級を受検される方には、最適な内容となっています。 最終日に、QC 検定 2 級をイメージした模擬試験を行います。 データから見る 品質管理セミナー入門コース http://www.juse-osaka.com/guide/qcnyu.html スマホで確認 						
第3回	【大 阪】	前期：10 月 6 日(火)～ 9 日(金)			後期：11 月 10 日(火)～ 13 日(金)		

※表示価格は全て税抜きです。

8	名 称	QC手法基礎コース				分 野	品質管理手法
略 称	基礎	総日数	2 日間	参加費	【一般】41,500 円		【会員】34,500 円
コースの概要	— 初めて品質管理 QC手法を学ぶ方に最適です！ — 【品質管理検定（QC検定）3級レベル対応】 品質管理の基本的な考えやQC七つ道具について速修いただけます。 QC 的ものの見方・考え方、QC 手法の基礎、問題解決の手順を学ぶことで、職場の問題を科学的に解決する意識づけができ、職場の改善活動に円滑に参画できるようになります。						
コースの特徴	■わかりやすいテキストと講義により、どなたでも品質管理の基礎知識と職場の問題解決に役立つQC手法の使い方を習得できます。 ■講義に加え演習を随所に盛り込み、より理解しやすい“参画型”で進めていきます。 ■新入社員の品質教育にも最適です。						
第7回	【大 阪】	8月27日(木)～28日(金)		第10回	【大 阪】	12月 3日(木)～ 4日(金)	
第11回	【福 岡】	2月16日(火)～17日(水)					

9	名 称	品質改善のための問題解決力実践コース				分 野	品質管理手法
略 称	実践	総日数	4 日間	参加費	【一般】75,000 円		【会員】64,000 円
コースの概要	— 企業・組織で働く方の問題解決力の養成と現場力・職場力の向上を実現 — 【品質管理検定（QC検定）3級レベル対応】 職場の品質改善を効果的に進めていくには、「QC 的ものの見方・考え方」「QC 手法」「問題解決の進め方」の“3つの道具”に加え、「問題解決力」が必要となります。 当コースでは、問題解決力の向上に不可欠な知識力、コミュニケーション力、解析力を強化することで、品質改善のための実践力を習得でき、実力のある職場リーダーが育成され、現場力向上につながります。						
コースの特徴	■『問題解決力向上演習』により「①データの収集のポイント」「②目的に応じたQC手法の使い方」「③問題解決の手順を用いた効果的改善方法」「④効果的なプレゼンテーション方法」が習得できます。 ■前期終了後に宿題が課され、講師が添削、解説をしますので、研修内容の復習と理解度の向上がはかれます。 ■セミナー受講前と受講後に問題解決力自己診断を行うことで、参加者自身がレベルの向上を数値で把握できます。						
第5回	【大 阪】	前期：10月29日(木)～30日(金)			後期：11月25日(水)～26日(木)		

10	名 称	職場の問題解決力レベルアップコース				分 野	品質管理手法
略 称	GWT	総日数	2 日間	参加費	【一般】46,750 円		【会員】39,750 円
コースの概要	— QCDを意識したデータの収集と活用で改善の質を向上！ — 当コースは、職場の問題について、品質(Q)、コスト(C)、納期・量(D)を意識してQC手法を活用し、改善を進めるグループ演習を主体としています。手法や改善のしかたを“教わる”のではなく、自分の弱みに“気づき”“克服する”セミナーで、実践テクニックが身につくとともに、QCサークルの運営、リーダーシップのあり方や職場でのコミュニケーションのとり方を体験できます。QC手法の基礎知識をお持ちでも、職場で活かしきれていない方におすすめします。						
コースの特徴	■ QC手法の選択から自ら考えることで、自職場の管理・改善のしかたを習得できる受講者主体の“参画型”コースです。 ■グループワークトレーニング 「問題解決法演習」に向けて、団結力の基盤を作るために、初対面の参加者同士で、アイスブレイクとしていくつかのゲームを行います。 ■問題解決法演習 与えられた問題をただ単に解くというのではなく、自らの力で問題をつかみ、真の原因を追究していく手順を身につけるための演習です。QC手法の実践テクニックが身につくとともに、品質・コスト・納期管理の重要性が理解できます。						
第1回	【大 阪】	7月14日(火)～15日(水)					



※表示価格は全て税抜きです。

11	名 称	2日でマスターする問題解決アプローチセミナー				分 野	品質管理手法
	略 称	APS	総日数	2 日間	参加費	【一般】51,000 円	【会員】44,000 円
	コースの概要	－ 実際に即した模擬製造工程から、パソコンを用いて QC 手法、問題解決の実践力、活用力を養います！ － 当コースは、パソコンを活用し、グループで問題解決アプローチ演習に取り組みます。実際に即した模擬製造工程から、パソコンで QC 七つ道具、統計手法を活用しながら問題解決に取り組みますので、すぐに業務で適用でき、同時に応用力を養うことができます。また、異業種の方々とのグループワークトレーニングで交流を通じて、品質(Q)、コスト(C)、納期・量(D)を意識した、事実に基づく管理(Fact Control)を習得できます。これまで学んだ問題解決手順と QC 手法の知識を実務で活かしていない方、実践力、活用力を養いたい方におすすめです。					
	コースの特徴	■模擬製造工程をシミュレーションした問題設定から、パソコンを活用してグループで問題解決に取り組みます。 ■演習では、主に Excel を使用します。また、受講者には Excel の関数で作成したファイルを配付します。 ■実際に即した問題解決を行うため、QC 手法と問題解決手順の活用力、応用力を養うことができます。 ■QC 七つ道具や問題解決の知識はあっても、実際の業務で活用しきれていない方におすすめです。 ■問題解決アプローチ演習を通じて、「QC 七つ道具だけでもこれだけ解決できる」といったことが実感できます。					
	第 1 回	【大 阪】	10 月 13 日(火)～14 日(水)				

12	名 称	Excel ですぐに使える統計的手法セミナー					分 野	品質管理手法
略 称	S・P・C	総日数	2 日間	参加費	【一般】59,000 円		【会員】52,000 円	
コース の概要	— 日常の出来事と職場の例の2通りで演習 — 近年、QC 検定受検者は増加傾向にありますが、3 級と 2 級では大きな壁があるのは事実です。当セミナーでは、統計手法の“ヒストグラムと工程能力指数”，“検定と推定”，“分散分析”，“相関と回帰分析”などの QC 検定 2 級レベル範囲の手法を、Excel 関数を使いながら講義と個人演習を行います。							
コース の特徴	■日常的な出来事を題材とした内容で説明し、演習では職場で活用できるような題材を扱っています。 ■Excel を使って計算できる手順を図解したテキストを用いているので、間接部門の方でもわかりやすい内容になっています。 ■『図解：すぐ使える統計的手法』をテキストとして使用します。							
第2回	【大 阪】	12 月 3 日(木)～4 日(金)						

13	名 称	品質機能展開セミナー 基礎編・実践編				分 野	品質管理手法
略 称	QFD基礎 QFD実践	総日数	2 日間 1 日間	参加費	“＜品質機能展開セミナーの参加費について＞”を参照		
コース の概要	品質機能展開（QFD）は、顧客要求を確実に設計に反映させることのできる効果的なツールです。 基礎編では、顧客の要求と製品設計で実現する仕様の関係を、品質表の形式で整理する「QFD の考え方」と「品質表の作成のしかた」を中心に QFD を基礎から学んでいただけます。 実践編では、顧客と製品設計以外の関係（製品仕様と工程仕様など）や、切り口を品質以外（コストや信頼性など）に設定した場合の情報整理の方法や、情報整理する際に他手法と連携する方法について、実務で役立つ方法の習得を重視しています。						
コース の特徴	基礎編 ■手順に沿った品質表の作成を通じて、ポイントや留意点など、QFD の基本を学べます。 ■演習で使用したソフトを持ち帰り、社内で活用できます。 ■個人演習では、参加者自身の業務テーマの要求品質を考えます。 実践編 ■各個人の業務や課題を題材に、情報授受の関係を、構想図で、体系的に整理できます。 ■様々な構想図のうち、個人課題に適した二元表を作成し、実務で活用できます。						
第3回	【大 阪】	【基礎編】11月25日(水)～26日(木)					【実践編】11月27日(金)

＜品質機能展開セミナーの参加費について＞

受講パターン		一般	会員
①	【基礎編】・【実践編】を連続受講(3 日間)の場合	85,000 円	78,000 円
②	【基礎編】(2 日間)のみ受講の場合	65,000 円	58,000 円
③	【実践編】(1 日間)のみ受講の場合	30,000 円	28,000 円

※【基礎・実践】は単独受講よりお得な価格です。

※表示価格は全て税抜きです。

14	名 称	実務に役立つ課題達成力向上セミナー					分 野	品質管理手法
	略 称	Q I P	総日数	2 日間	参加費	【一般】49,000 円	【会員】42,000 円	
	コース の概要	－ 会社・職場目標を達成するために新たなやり方を創出しよう！ － 新規業務へ対応したり、現状を打破するには、問題解決型によるアプローチに加え、新たな発想を喚起する課題達成型ストーリーが有効です。課題達成型ストーリーとは、目標を達成するために、新たなやり方を創り出して活動を効果的に進めるための手順です。事業方針を職場に展開するマネジメントツールとして、またテーマ選定が難しい管理・間接部門の改善活動にも役立ちます。当セミナーでは、課題達成型を理解していただき、問題解決型と課題達成型との使い分け方を学んでいただきます。						
	コース の特徴	■当コースで習得したことを活用して、行動計画を作成し、自社ですぐ役立てることができます。 ■会社・職場の目標をどのように活動計画に落とし込み、実施していくか迷っている方にもおすすめします。 ■業務の効率化やコストの削減など重点課題の実現を目指している企業のスタッフ教育としても活用いただけます。 ※本セミナーはパッケージ料金が適用されます。詳細は下の表をご覧ください。						
	第2回	【大 阪】	11 月 4 日(水)～5 日(木)					

15	名 称	なぜなぜ分析2日間実践セミナー				分 野	品質管理手法
略 称	なぜなぜ	総日数	2 日間	参加費	【一般】67,000 円 (昼食代含む)	【会員】60,000 円 (昼食代含む)	
コース の概要	－ トラブルの原因追究の切り札！ － 「なぜ」を効果的に繰り返して真因をつかむノウハウを身につけよう！ 品質トラブルや品質不具合、業務トラブルに対し、迅速かつ的確な原因追究が求められています。「なぜなぜ分析」は、問題を引き起こしている事象に対して「なぜ」を繰り返しながら、論理的に漏れなく要因を洗い出し、再発防止を実現する的確な対策を導き出す方法です。当セミナーでは、「なぜなぜ分析」の第一人者を講師に、「なぜなぜ分析」を正しく展開する方法とそのノウハウを具体的に学ぶことができます。						
コース の特徴	■品質不具合や業務トラブルに対する徹底した原因追及により、再発防止策を導き出せる「なぜなぜ分析」の展開方法を習得できます。 ■「なぜなぜ分析」実践力に不可欠な感性を養い、気づき、思考力、直感力、洞察力、解析力などを身につけることができます。 ■演習を通じてより的確な再発防止策を導き出す改善力を養い、実践的な「なぜなぜ分析」トレーニングを実施し、職場実践につなげることができます。 ※ テキスト（小倉仁志氏著書『なぜなぜ分析 10 則—真の論理力を鍛える』（日科技連出版社発行））をお持ちの場合は、 参加費-2,000 円〔65,000 円（一般）／ 58,000 円（会員）〕になります。  						
第 4 回	【大 阪】	7 月 14 日(火)～15 日(水)		第 7 回	【名古屋】	11 月 17 日(火)～18 日(水)	
第 10 回	【大 阪】	2 月 25 日(木)～26 日(金)					

16	名 称	新QC七つ道具セミナー				分 野	品質管理手法
略 称	N 7	総日数	3 日間	参加費	【一般】 63,000 円	【会員】 54,000 円	
コース の概要	— 管理者・スタッフの質的向上のために！ — 問題を解決するにあたって、ものづくりの現場はもちろん、企画や管理、営業部門において、情報の多くは言葉で表現される“言語データ”が扱われます。言語データから有益な情報を抽出し、新しい発想を生み出してくれるツールが「新QC七つ道具(N7)」です。当セミナーでは、N7の有効な実施手順と活用ポイントを講義と演習で進め、さらには企業での活用事例を紹介します。						
コース の特徴	■従来は勘や経験で整理し、扱いにくかった言語データから有用な情報を取り出し、新しい発想へと導くポイントを学べます。 ■管理者・スタッフの方が実務で直面される問題や課題（人材育成・企画力・顧客ニーズ把握等）をテーマとした演習を体験していただく“参加型”カリキュラムです。 ■グループ演習では、得られた知を図形化（言語図形）することで、既成概念や思い込み等を打破し、発想と気づきを得ます。 ■各手法の講義だけでなく、手法毎にその活用方法の理解が深まるように、ミニ演習（個人演習）を取り入れています。						
第1回	【大 阪】	7 月 28 日(火)～30 日(木)					

17	名 称	2日でマスターするマーケティング実践セミナー			分 野	経営戦略・商品企画・イノベーション	
	略 称	MT 実践	総日数	2 日間	参加費	【一般】 46,750 円	【会員】 39,750 円
	コース の概要	ー ターゲット市場を決めるには、あらゆる手段での情報収集と解析が必要！ ー 市場環境は、大きく変化していきます。企業が成長するには、ターゲット市場を選択し、新しい商品・サービスを投入していかなければなりません。これらを継続的かつ体系的に続けていかないと場当たりの対応に終始し、企業に貢献し続けることは望めません。この原因は市場が見えないことにあります。特にお客様の潜在するニーズと、そのトレンドが見えないことです。したがって、市場がどのように変化し、自社の対応が市場にどう影響を与えているかを“見える化”することが重要です。 当セミナーでは、マーケティング戦略の立案から、ターゲット市場の選定、新商品・サービスの投入までの流れの中で、どのようにデータを収集し分析することで、市場の見える化を実現できるのか、その方法を学びます。					
	コース の特徴	■マーケティングの基礎についての講義をします。 ■企業戦略に役立つポートフォリオ、単回帰・重回帰分析、数量化Ⅰ類、クラスター分析などを使った事例で、PC 演習をしながらやさしく説明します。 ■演習で使用了 Excel ファイルは、持ち帰ることができ、会社ですぐに実践できます。 ■インタビュー、アンケート調査などは、統計解析手法を駆使することで市場を見える化することができます。					
	第 1 回	【大 阪】	10 月 15 日(木)～16 日(金)				

18	名 称	QCサークル管理者コース				分 野	QCサークル
略 称	QCC管	総日数	2 日間	参加費	【一般】44,750 円	【会員】37,750 円	
コースの概要	－ QCサークルの成長、活性化には管理者の役割が重要！ － 企業・組織の QC サークル活動（小集団改善活動）の成果は、管理者・支援者のサポートによって大きく左右されます。当コースでは、企業における QC サークル活動の必要性・有効性を認識し、管理者・支援者として、どのように指導・支援すれば、経営に貢献する強いQC サークルを育成できるかが習得できます。						
コースの特徴	■QC 手法の活用ポイントなど、テーマ解決活動の実践的指導方法と講評のしかた、評価方法が学べます。 ■グループ討論（WS：ワークスタディ）では、自職場の QC サークル活動の実態について現状診断を行い、これをもとに管理者としての指導・育成のしかたについて討論します。 ■他社の活動事例に触れるとともに、テーマ解決活動の実践的指導方法と講評のしかた、評価法が学べます。 ■WS、情報交換会などで他社の活動事例に触れ、異業種交流ができる「参画型プログラム」です。						
第2回	【大 阪】	10 月 8 日(木)～9 日(金)					

19	名 称	QCサークル推進者コース				分 野	QCサークル
略 称	QCC推	総日数	6 日間	参加費	【一般】112,500 円	【会員】97,500 円	
コースの概要	－ QCサークル活動推進のノウハウのすべてがここにありす！ － QC サークル活動（小集団改善活動）の活性化や、経営への貢献のあり方など、悩みの解消に加え QC サークルの計画的・効果的な推進方法を学ぶことができます。活動のキーマンとして実際の職場でしっかりと指導ができる優れた推進者を育成します。						
コースの特徴	■QC サークルが行う問題解決、課題達成活動に対する具体的なアドバイスや指導のしかたが身につきます。 ■企業での実践・指導経験が豊富な講師が講義・GD 指導を担当しており、その豊かな経験から学ぶことが多く、大変有益です。 ■グループディスカッション、情報交換会など、異業種交流ができる「参画型プログラム」です。 ■「QC サークル指導士資格認定制度」の対象コースとなっており、セミナー終了後に「QC サークル指導士」認定試験を受験できます。（2000 年 4 月以降の推進者コース修了者は認定試験のみ受験ができます） ※ QC サークル指導士認定試験受験料 【一般・会員】20,000 円						
第3回	【福 岡】	前期：7 月 29 日(水)～31 日(金)				後期：8 月 26 日(水)～28 日(金)	
第5回	【大 阪】	前期：9 月 16 日(水)～18 日(金)				後期：10 月 14 日(水)～16 日(金)	
第2回	【名古屋】	前期：10 月 28 日(水)～30 日(金)				後期：12 月 2 日(水)～ 4 日(金)	
第7回	【大 阪】	前期：2 月 3 日(水)～ 5 日(金)				後期：3 月 3 日(水)～ 5 日(金)	

20	名 称	QCサークルリーダーコース				分 野	QCサークル
略 称	QCC L	総日数	3 日間	参加費	【一般】59,250 円	【会員】50,250 円	
コースの概要	－ リーダーとしての本当の役割とサークル運営を知る！ － QC サークルをはじめとする小集団改善活動のリーダーに求められる総合力である「指導・指揮力（リーダーシップ）」「運営力」「問題解決力」を養成します。これら 3 要素の一つひとつに重点をおいた講義とグループディスカッション（GD）で、着実にその向上をはかります。リーダーとして考え、行動できる力が身につきます。						
コースの特徴	■QC サークルリーダーに必須の品質管理・正しい知識、リーダーシップ、QC 的ものの見方・考え方が身につきます。 ■QC サークルの計画的・効率的な運営のしかたが学べます。 ■問題解決、課題達成の考え方・進め方や QC 手法の活用のしかたを習得し、問題・課題解決力が着実に向上できます。 ■GD を通じて参加者同士の交流、相互研鑽ができ、参画型プログラムで視野が広がります。						
第7回	【大 阪】	9 月 9 日(水)～11 日(金)		第8回	【名古屋】	10 月 21 日(水)～23 日(金)	
第10回	【大 阪】	1 月 27 日(水)～29 日(金)		第5回	【福 岡】	3 月 16 日(火)～18 日(木)	

QCサークル指導士資格認定制度

—QCサークルの分野では日本で唯一の認定資格—

日科技連では、2000年4月にQCサークル活動の普及と発展のために「QCサークル指導士資格認定制度」を発足しました。「QCサークル指導士」は、企業・団体などにおいて正しくQCサークル活動の指導・育成ができる能力のあることを認定したもので、QCサークルの分野では、日本で唯一の認定資格です。今、企業ではスピードと変革の時代に応えられる優れたQCサークルの指導者を欲しています。社内でのQCサークル活動の活性化、個人のスキルアップのためにお役立てください。

【お知らせ】2018年度からQCサークル指導士資格規定が改定されております。詳細はWebページをご覧ください。

⇒ <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/qualify-06>

■下記の条件を満たしている方には、QCサークル活動の指導・育成を行ううえで、自身が補いたいと思う部分を「QCサークル推進者コース」の講義から3単位選択して受講いただけます。3単位受講後、同コース期間内であれば、ご希望の日時に認定試験を受けることができます。

⇒ 詳細は<http://www.juse.or.jp/src/seminar/subpage/59/1/140>をご覧ください。



「QCサークル指導士」資格取得のステップ

●対象者

新規受講者

次のいずれかに該当する者

- ・2003年までに開催の「QCサークル推進者コース」または「他機関が主催するこれと同等コース」の既修了者
- ・現役・OBを問わず次のいずれかの職に就いた経験が1年以上ある者
 - ①QCサークル本部認定指導員
 - ②QCサークル本部および支部・地区の役員、幹事
 - ③QCサークル誌編集委員

●研修・認定試験

QCサークル推進者コース

6日間コース・認定試験(筆記試験)

QCサークル指導士資格認定コース
左記コースの講義から3単位を選択

認定試験(筆記試験)

認定試験合格

●審査

登録申請

審査書類…QCサークル活動に係わる実務経験

- ・企業内でQCサークル活動の推進や指導に関わった実務経験が3年以上、または
- ・QCサークル本部、支部・地区で幹事等の経験が2年以上

QCサークル指導士資格審査委員会における審議

登録証発行

QCサークル指導士

●登録

QCサークル上級指導

- ・QCサークル指導士として、2年以上の経験があること
- ・企業内外におけるQCサークル大会の講評を3回以上実施した経験があること
- ・QCサークル上級指導士の推薦があること

21	名 称	改善の見える化セミナー				分 野	現場力向上
	略 称	改善見える化	総日数	2 日間	参加費	【一般】 47,000 円	【会員】 40,000 円
	コース の概要	－ 改善4ステップによる見える化 － 改善活動がうまくいかない原因の一つに、改善のステップにおいて潜在的要因を突き止めていないことがあげられます。 当セミナーでは、改善活動を 4 つのステップに分け、ステップごとに有効な進め方のノウハウを指導します。 4つのステップ ① 気づかない問題の見える化（気づく） ② 潜在的要因の見える化（探す） ③ 有効な対策の見える化（考える） ④ 最適な実用化の見える化（行う）					
	コース の特徴	■テーマ（問題解決、課題達成、未然防止）に応じた改善シートの紹介をします。 ■グループ演習を通じて、実践力を養成します。 ■小集団改善活動の気づく化・見える化推進事例を紹介します。					
	第1回	【大 阪】	3 月 11 日(木)～ 3 月 12 日(金)				

22	名 称	信頼性技法実践講座：FMEA・FTA				分 野	信頼性・安全性
	略 称	REF F	総日数	2 日間	参加費	【一般】47,000 円	【会員】42,000 円
	コース の概要	－ 故障や事故を未然に防ぐための解析手法 － FMEA 手法及び FTA 手法は、新製品、新製造工程における様々な潜在的故障要因を設計段階で摘出し、改善する製品の信頼性向上、PLP（製造物責任予防）のためのキーテクノロジーです。 当講座は、これらの手法の基本が習得でき、解析事例と演習により実践的経験が得られます。また、ISO 9000 ファミリー規格では FMEA の実施を推奨しており、これを基にした自動車産業分野の品質マネジメントシステム規格 IATF 16949 では製品の設計 FMEA と製造工程 FMEA の実施を要求しております。 FMEA (Failure Mode and Effects Analysis : 故障モード、影響解析) 手法 潜在的故障要因があるかを設計段階で摘出し、改善する手法。 FTA (Fault Tree Analysis : 故障の木解析) 手法 製品使用中に発生しては困る事象などについて、その発生要因を設計段階で摘出し、改善する手法。					
	コース の特徴	■「IATF16949 : 2016」などの国際規格においても実施が要求されている製品の設計 FMEA と製造工程 FMEA を実施例や講義時間内演習を盛り込んだカリキュラム構成により、短期間で学ぶことができます。 ■事例中心の講義内演習と、少人数によるグループディスカッション演習により理解を深めることができます。					
	第 4 回	【名古屋】	9 月 9 日(水)～10 日(木)	第 7 回	【福 岡】	10 月 6 日(火)～ 7 日(水)	
	第 9 回	【大 阪】	10 月 27 日(火)～28 日(水)				

23	名 称	多様な知識を統合する技術の学習と実践の講座：デザインレビュー				分 野	信頼性・安全性
	略 称	REDR	総日数	3 日間	参加費	【一般】71,000 円	【会員】62,000 円
	コース の概要	企画からサービス・廃棄までのライフサイクルの考え方を取り入れたマネジメントの演習と発表・質疑応答、故障モードの考え方をベースに、的確に対話とコミュニケーションを行うことで未然防止を実現する「DRBFM」の演習と発表・質疑応答によりデザインレビューの本質理解と実践力を身につけます。 デザインレビューの考え方と進め方・手法の講義、複数課題のグループ演習と実践事例の三位一体により、製品設計や生産技術などの多様な知識の統合と実践力を備えた人材育成ができるようにカリキュラムを構成しました。加えて、最新の情報を特論に織り込み、多様なニーズに対応できるよう、柔軟で充実したカリキュラムとなっています。					
	コース の特徴	■講義とグループ演習・発表の補完により、理解力・実践力を養います。 ■ライフサイクルを通じた品質・コストの作り込みノウハウや機能設計と信頼性・安全設計のレビュー方法を身につけて具体的な改善策を見出す能力を養います。 ■担当業務に加え前後の一連の業務への関心を高め、一連の流れの中でのボトルネックの発見と解消への取り組みができる人材を育成します。 〔DR 実施例発表会社（五十音順・予定）〕 〔株〕IHI、〔株〕東芝、〔株〕本田技術研究所、〔株〕村田製作所など					
	第 2 回	【大 阪】	7 月 29 日(水)～ 31 日(金)				

日科技連認定「信頼性技術者資格認定制度」(JCRES : JUSE Certified Reliability Engineer)

－日本で唯一の信頼性技術資格者！ 信頼性技術者の能力を認定します！－

「信頼性技術者資格認定制度」とは、日科技連が「信頼性工学の普及と発展を通じ、信頼性・品質保証業務に携わる技術者の問題解決能力の向上を図るために、「信頼性技術者」を資格認定し、評価登録するものです。信頼性全般についての基礎的知識を有し、基本的な問題の解決に有効な信頼性手法を利用することができ、信頼性の向上活動を自ら実践できるエキスパートと判定された方には「信頼性技術者」資格が授与されます。

「信頼性技術者」資格は、日科技連主催の「信頼性技術者資格認定試験」に合格し、「信頼性技術者資格認定委員会」における審議を経て認定されます。⇒ 詳細は <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/qualify-02> をご覧ください

- 大阪会場での認定試験は2020年8月21日（金）に実施いたします。
- すでに約700名の方を超える方々が資格を有し、各方面で活躍しています。
- 「信頼性技術者」資格には、「初級信頼性技術者」「中級信頼性技術者」「上級信頼性技術者」の3つの種類があります。
- 「初級信頼性技術者」資格認定試験は、「信頼性セミナー基礎コース（東京）」、「信頼性設計・試験基本コース」終了後に実施します。「中級信頼性技術者」、「上級信頼性技術者」の資格試験は、レポートの提出による書類審査と面接を行います。



※表示価格は全て税抜きです。

24	名 称	設計・開発における未然防止手法セミナー 日産式 Full Process DR と Quick DR				分 野	信頼性・安全性
	略 称	未然DR	総日数	2 日間	参加費	【一般】62,000 円	【会員】55,000 円
	コース の概要	新製品の新規性に応じてデザインレビューを使い分ける最新の未然防止プロセス！ Full Process DR と Quick DR のグループ演習を通じて実践のポイントを習得できます！ 製品開発段階で市場の品質問題を予測し、対応策を決定する未然防止。未然防止のためプロセスとして有効なのがデザインレビュー（DR）です。日産自動車では新製品の新規性に応じて 2 種類のデザインレビューを使い分ける体系を構築し、グローバルに展開しています。FMEA を軸とした Full Process DR と DRBFM（Design Review based on Failure Mode）を軸とした Quick DR。未然防止の視点から 2 つの DR の目的を理解し、事例紹介、実部品を用いた演習を通じて実践力を養成します。また、デザインレビューのレビューアに求められるスキルをコーチングの視点から解説します。					
	コース の特徴	■話題の日産式 Quick DR が学べます。 ■企業における最新の取り組み内容を解説：企業の開発現場でグローバルに実践されている最新の未然防止手法を解説します。 ■充実したグループ演習：実部品をもとにした豊富なグループ演習を通じて、実践力を養成します。 ■企業の実務家による直接指導：企業の最前線でデザインレビューの指導、実践を行っている経験豊富な講師陣が指導します。  					
	第 2 回	【大 阪】	9 月 7 日(月) ～ 8 日(火)				

未然防止・再発防止

※表示価格は全て税抜きです。

25	名 称	失敗学と創造学セミナー				分 野	未然防止・再発防止
略 称	失敗学	総日数	2 日間	参加費	【一般】49,000 円	【会員】42,000 円	
コース の概要	－ 品質問題を解くヒントがここにある！ 失敗に学び創造性を伸ばす！ － 様々な失敗や不具合、トラブルに対し、その解決策・未然防止策の一つとして注目されているのが、畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」です。当セミナーでは、畑村氏と共に研究されてきた濱口哲也氏（元東京大学大学院特任教授）に、「失敗学」と「創造学」をご指導いただきます。「失敗のとりえ方と有効活用」「視点・思考の転換による『気づき』と『創造』」「技術・発想のブレークスルー」などを学びたい方におすすめのセミナーです。						
コース の特徴	■様々な失敗事例を通して学んだ情報を、いかに上位概念として捉え、水平展開していくか。また、真の要求機能を理解し、いかに既存のアイデアの枠から抜け出して新アイデアにたどり着くか、をわかりやすく解説します。 ■講師と参加者の方々との対話を重視した講義により、体験的、実践的に失敗学と創造学を理解いただけます。 ※本セミナーはパッケージ料金が適用されます。詳細は下の表をご覧ください。 「失敗学」と「創造学」とは http://www.juse-osaka.com/guide/shippai.html こちらを ご覧ください！ スマホで確認  						
第2回	【大 阪】	7 月 2 日(木)～ 3 日(金)	第5回	【大 阪】	12 月 8 日(火)～ 9 日(水)		

26	名 称	失敗学実践編セミナー				分 野	未然防止・再発防止
略 称	失敗学実践	総日数	1 日間	参加費	【一般】45,000 円	【会員】38,000 円	
コース の概要	－ 今までの原因分析と対策は間違っていた！ － 様々な失敗や不具合、トラブルに対し、その解決策・未然防止策の一つとして注目されているのが、畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」です。日科技連では、畑村氏とともに研究されてきた、当時東京大学大学院特任教授であった濱口哲也氏を講師として 2007 年に「失敗学と創造学セミナー」を開設しました。同コースは、失敗学の思考法が学べる講座として過去累積2,000 名を超える参加者を誇る人気コースとなりました。一方、その間に、失敗学の思考法に賛同された企業・組織からの相談を受けて、濱口氏は様々な企業のトラブル事例分析の指導を実践され、指導を行う中で「多くの企業・組織において失敗分析がしっかりできていない」という実態がわかりました。そして、指導企業に対して、どのように指導したら理解してもらえるのか、どのように伝えたらより伝わるのかを常に考え、その結果を濱口氏は「失敗学実践編セミナー」にまとめました。しっかりとした事例分析と再発防止のみならず、未然防止につなげられるようになりたい方におすすめのセミナーです。						
コース の特徴	■失敗学の思考法を職場で実践するための具体的なアプローチ方法について学ぶことができます。 ■講師と参加者の方々との対話を重視した講義と、様々な事例紹介を通じて体験的かつ具体的に学ぶことができます。 ※本セミナーはパッケージ料金が適用されます。詳細は下の表をご覧ください。						
第2回	【大 阪】	9 月 15 日(火)	第4回	【大 阪】	2 月 9 日(火)		

■お得なパッケージプラン

セミナー名	一般		会員	
	正規料金	パッケージ料金	正規料金	パッケージ料金
失敗学と創造学セミナー	49,000 円	_____	42,000 円	_____
失敗学実践編セミナー	45,000 円	_____	38,000 円	_____
パッケージ	94,000 円	79,000 円	80,000 円	64,000 円

27	名 称	品質トラブルの未然防止セミナー				分 野	未然防止・再発防止
	略 称	QMB	総日数	1 日間	参加費	【一般】 35,000 円	【会員】 30,000 円
	コース の概要	－ 品質トラブルを組織的に撲滅するために － 「組織的に品質トラブルを未然防止する『しくみづくり』」を主眼としたセミナーです。「品質トラブルが発生する原理」から、「未然防止の考え方」「安全文化の構築」「未然防止 7 つのステップ」などを通し、品質トラブルの未然防止に向けた考え方と実践ノウハウをわかりやすく習得していただけます。					
	コース の特徴	■品質トラブルが頻発するのはなぜか。その原理を解き明かし、組織的に撲滅するためのシステム構築のポイントを講義します。 ■ステップ別に具体例を入れてわかりやすく論理的に解説します。 ■初めて品質管 理・信頼性を学ばれる方に、そのエッセンスを講述します。 未然防止 7 つのステップ ① 未然防止への動機付け ② リスクの事前抽出(ハザードの列挙) ③ リスクの事前評価 ④ リスク評価後のアクション(事前の安全確保) ⑤ 万一の事故発生に向けての事前対策の策定 ⑥ リスク管理の仕組みのさらなる改善 ⑦ しくみの定着化と安全文化の確立 なぜ未然防止が必要なのか？ こちらを ご覧ください！ スマホで確認  http://www.juse-osaka.com/guide/qmb.html					
	第 2 回	【大 阪】	7 月 21 日(火)				

28	名 称	あらゆる職場で役立つヒューマンエラーの原因分析・対策法セミナー				分 野	未然防止・再発防止
	略 称	現場HE	総日数	2 日間	参加費	【一般】 48,750 円	【会員】 41,750 円
	コース の概要	－ 13の心理メカニズムで解き明かす！ － ヒューマンエラー（人為ミス）は、その発生メカニズムを理解し、原理原則に沿って対策すれば、いくらでも減らすことが可能です。大きなポイントが2つあり、①今使っている品質不良対策の考え方は物的系に重点があり、人為ミスの原因究明には使いにくい。②人為ミスは作業者の“心の動き”が原因となって発生するので、人間の心理作用に重点を置いた新しいアプローチが重要になる。という点です。 当セミナーでは、働く人の心理面から人為ミスの発生するメカニズムを解き明かし、数多くの事例から対策の打ち方を解説します。職場で発生した人為ミスに対して、しっかりとした対策を積み重ねることが人為ミス（ヒューマンエラー）撲滅に近づく方法です。					
	コース の特徴	■人起因のミス原因を究明する新しい考え方（13の心理メカニズム）を提案します。 ■実例をもとにしたケーススタディ（グループ演習）で、ヒューマンエラー対策の基本的な考え方を習得します。 ■自社の事例で「ヒューマンエラー対策書」を完成させます。 人為ミスの攻略法 対策サイクルと各ステップのポイント Step5 職場の弱点の明確化 Step1 人為ミスの発生状況を正確につかむ Step2 直接原因と間接原因を 明確に究明する Step3 再発防止対策 Step4 再発防止対策 人為ミス 対策サイクル 刑事コロンボの事件捜査と同じように、 できるだけ細かく(5W1H)ヒアリング する ■細かいことにこだわる ■細かいことを見逃さない ■フォロー計画を 対策立案と同時 に作成し、履 歴管理 ■とくに間接原因の特定には、ヒアリングテ クニックが求められる(ミス発生時の状況 は当事者以外にはわからない) ■ハードの対策を全体に横にらみ					
	第3回	【大 阪】	9月 3日(木)～ 4日(金)				

※表示価格は全て税抜きです。

29	名 称	現場力強化のための人為ミス未然防止セミナー				分 野	未然防止・再発防止
	略 称	A-KOMIK	総日数	1 日間	参加費	【一般】29,130 円	【会員】24,130 円
	コース の概要	－ 起こるべくして起きる人為ミスを、未然に防ぐための実践手法を習得する！ － ポカミスなど人的要因によるミス（人為ミス）は、人間がかわる限りなくならないものです。しかし、作業手順や判断の中からできる限り“あいまいさ”を取り除くことで、人為ミスを未然に防ぐことが可能です。 当セミナーは、そうした“人為ミスを未然に防ぐため”の日常管理手法「A-KOMIK」を用いて人為ミスの発生しにくい職場のあり方を考え、実現するためのセミナーです。 ※ テキスト（『A-KOMIK・日々管理で防ぐ 人為ミス』（日科技連出版社発行）をお持ちの場合は、 参加費－1,630 円 [27,500 円（一般）／ 22,500 円（会員）] になります。 A-KOMIKとは A：あいまいさを見つける K：決めごとを決める O：教える M：守らせる I：異常を見つけ処置する K：改善する 					
	コース の特徴	■ 人為ミス防止活動における現場リーダーの役割と重要性が理解できます。 ■ 「なぜ人為ミスが発生するか」の着眼点を習得できます。 ■ 作業マニュアルなどに潜む発生原因へ気づきが生まれます。 ■ サークル活動のマンネリ打破にヒントを投げかけます。					
	第 4 回	【大 阪】	11 月 13 日(金)				

30	名 称	行為保証におけるプロセス管理セミナー				分 野	未然防止・再発防止
	略 称	行為保証	総日数	1 日間	参加費	【一般】24,000 円	【会員】19,000 円
	コース の概要	製造現場における品質不良の問題はなくなることがありません。ベテラン作業者の減少や非正社員の増加により、頻繁に同じような品質不良を発生させていないでしょうか？品質不良が発生した際、作業者に「ちゃんと」「しっかりと」「丁寧に」といった指導だけでは品質は一向によりません。なぜなら、あなたの「ちゃんと」と、私の「ちゃんと」の基準が違うからです。作業の”ばらつき”を改善するための手段として、「行為保証」といった考え方を当セミナーで紹介します。加工・組立工程で発生している潜在的な品質の問題構造を理解していただき、真因究明へのアプローチポイントをつかんでいただきます。					
	コース の特徴	■再発不良を“ゼロ”へ ■暗黙知を形式知へ（ノウハウ・ノウホワイを技術へ） ■取り組み続ける体質（品質を造り込む思想）構築へ					
	第1回	【大 阪】	9 月 3 日(木)				

31	名 称	再発防止対策の基本と進め方セミナー				分 野	未然防止・再発防止
略 称	再発防止	総日数	1 日間	参加費	【一般】 25,000 円	【会員】 20,000 円	
コース の概要	— 効果のある再発防止活動を行うために — 品質管理活動、改善活動、ISO 活動などにおいては、「再発防止活動」が重要な位置づけを占めています。問題や不良削減の最も重要な活動の一つだからです。しかし、実態は表面的な原因追究だけで思いつきの再発防止策を打ったり、流出防止策を再発防止策と勘違いしている企業が少なくありません。結果として、再発防止の効果が現れていません。 当セミナーでは、再発防止の本来あるべき基本的な事柄と再発防止対策の進め方の基本について、解説して指導します。						
コース の特徴	■再発防止対策の本来のあり方と進め方について、事例を交えて基本をていねいに解説します。 ■研修で学んだ事柄は、職場の活動ですぐに活用できます。						
第3回	【名古屋】	7月 7日(火)		第4回	【大 阪】	11月 6日(金)	
第2回	【福 岡】	2月 18日(木)					

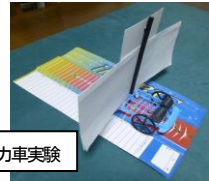
32	名 称	2日でマスターする多変量解析法セミナー				分 野	多変量解析法
略 称	S・MA	総日数	2日間	参加費	【一般】59,000円	【会員】52,000円	
コースの概要	－ 実務にすぐ役立つ実践的多変量解析法 － 職場で扱うデータは単純なものではなく、複数の項目にわたるデータの場合が多いため、そのような場合の解析は多変量解析法を用いることになります。しかし、多変量解析法は理論の説明に行列を用いるため、数学が得意でないという気がしない難解な手法です。一方、研究室や企業においては、業務のスピード化と、技術の蓄積といった問題があり、近年では重要な課題として注目されています。この課題に対して有効な手法が多変量解析法です。解析にあたっては、Excelの分析ツール、Excelのソルバー機能、行列関数、組み込み関数を使用しています。						
コースの特徴	■オリジナルテキストを使い、Excelで作成したファイルを使い、1人1台のパソコンで演習問題を解析します。 講義で使ったExcelファイルは持ち帰ることができます。 ■固有技術の確立、固有技術の伝承や品質問題に悩んでいる人のためのセミナーです。 ■当セミナーでは下記手法を習得できます。 層別単回帰分析 / 重回帰分析 / ロジスティック回帰分析 / 曲線回帰分析 / 数理化理論Ⅰ類 / 班別分析 / クラスタ分析 / 主成分分析 ※パソコンは当方で用意いたします。（ご自身のパソコンをご持参いただいても結構です）						
第1回	【大 阪】	8月27日(木)～28日(金)					

33	名 称	2日でマスターする実験計画法セミナー				分 野	実験計画法
略 称	S・DOE	総日数	2日間	参加費	【一般】59,000円	【会員】52,000円	
コースの概要	－ 統計的方法の基本的な考え方とSuper DOE分析 － 企業では開発期間の短縮など、実践の場において確実に使える方法（すぐに使える手法）を求めています。当セミナーでは、テキスト添付のExcel上で動くソフトを使用し、2日間で講義と演習を行いながら最適条件を探索する実験を行います。						
コースの特徴	■2水準以外でも簡単に適用 ■欠測値にも簡単に対応可能 ■直交表以外でも適用可能 ■理論を知らなくても活用が可能 ■解析ソフト付き ※1人1台のパソコンで演習問題を解析します。 ※パソコンは当方で用意いたします。（ご自身のパソコンをご持参いただいても結構です）						
第2回	【大 阪】	8月25日(火)～26日(水)		第3回	【大 阪】	2月4日(木)～5日(金)	



34	名 称	3日でマスターする応答曲面法セミナー				分 野	実験計画法
略 称	応答曲面・O	総日数	3日間	参加費	【一般】70,000円	【会員】64,500円	
コースの概要	応答曲面法（response surface methodology）は、実験計画とデータ解析を組み合わせた方法として発展し、多変数を同時に最適化する手法として知られています。データを計画的に収集し、そのデータから最適な条件を見つけることを目的としており、実験による最適化のための強力なツールです。実験計画法とともに活用し、多数の説明変数の最適な組み合わせ条件を導き出すことや、実験計画法と最適化手法を組み合わせることで、多くの変数が関与する特性に関する最適条件を最少のサンプル数で求めることが可能になります。 当セミナーでは、応答曲面法のための計画から解析に加え、基本となるシンプレックス法、Box-Wilson法、EVOPなどの最適化手法の実践方法と解析方法を3日間で講義と演習を行いながら習得します。						
コースの特徴	■応答曲面法の概要から計画、解析方法を3日間で習得できます。 ■応答曲面法に加え、シンプレックス法、Box-Wilson法、EVOP等の最適化手法を習得することで、幅広い対応が可能です。 ■Excelでの解析を取り入れ、模擬実験などを通して実務的なパソコン演習、シミュレーション実験を行います。 ■参加者には、Excelマクロを用いた使いやすく高機能な統計解析ソフトを配付します。						
第1回	【大 阪】	11月10日(火)～12日(木)					

※表示価格は全て税抜きです。

35	名 称	Excel で学ぶ実務に使える実験計画法セミナー				分 野	実験計画法
略 称	実DE・O	総日数	9 日間	参加費	【一般】155,000 円	【会員】145,000 円	
コース の概要	－ 実験計画法を活用できる技術者育成のために！ － 今日の企業においては、実験計画法を使用する機会が多くなり、その使用範囲も生産現場における工場実験や工程改善はもとより、新製品、新技術、新プロセスの設計・開発、市場研究のための市場実験、試験研究など幅広く活用されています。当セミナーは技術者・研究者の方が身につけていなければならない実験計画法の考え方や手法を講義、演習だけでなく、受講者同士で学びあう LTD(Learning Through Discussion)、グループで取り組む模擬実験や Excel を用いたシミュレーション実験を行うことで、効率の良い実験を計画し、得られたデータを正しく解析できる技術者を育成します。実験計画法の基礎から応用までを効率的に学び、実際の業務に適用する力をつけることができます。						
コース の特徴	■実験計画法を確実に実務に活用できる技術者の育成を目的としており、効率のよい実験を計画し、得られたデータを正しく解析する方法を知るために、解析テクニックだけでなく、実験の計画(デザイン)そのものに重きを置いています。 ■実験計画法は、多分野の研究・開発・設計に有力な手法です。例えば、医薬品開発における「製剤開発に関するガイドライン」に沿った、「Quality by Design」による製剤開発の基礎や「Design space の設定の基礎」に役立ちます。 ■直交表実験に最適な Excel 解析ソフトや非直交実験にも対応できる Excel 解析ソフトなど色々なソフトを用いて演習を実施します。また、セミナーで使用した Excel 解析ソフトはお持ち帰りできます。 ※過去に「2日でマスターする実験計画法セミナー」を受講された方は下記の割引料金が適用されます。 139,500 円 (一般) / 130,500 円 (会員)  天秤実験  ゴム動力車実験  シミュレーション実験 ゴム動力車実験 実施風景 http://www.juse-osaka.com/images/rpc.MOV こちらをご覧ください!!  スマホで確認						
第 1 回	【大 阪】	[1 月目] 8 月 19 日(水)～21 日(金)	[2 月目] 9 月 16 日(水)～18 日(金)	[3 月目] 9 月 29 日(火)～10 月 1 日(木)			

I E

36	名 称	QCサークル活動に役立つ I E・VE活用セミナー New				分 野	I E
略 称	I E V E 活用	総日数	1 日間	参加費	【一般】 25,000 円	【会員】 20,000 円	
コース の概要	ー 改善力を格段に向上させる「ムダ取り」の実践と「流れづくり」の設計法 ー QC サークルや日々の改善活動において、作業の効率化や職場のムダの排除を効果的に進めるためには、IE、VE の活用は必要不可欠です。IE（作業の効率化とムダ排除の実践法）、VE（作業・製品の機能と価値の分析法）を習得し、職場に潜むムダ（動作・運搬・手持ち・つくり過ぎ・在庫・不良・加工に潜むムダ）を効率的に改善するための実践力を養成するセミナーです。						
コース の特徴	■ムダ排除の基本的な考え方を学びながら、IE（作業の効率化とムダ排除）の実践方法を習得し、ムダの着眼点を養成します。 ■チームによる改善実践演習により、IE 改善の進め方を習得します。 ■VE（機能と価値の分析法）の効果的な改善の考え方を習得します。						
第 1 回	【福 岡】	10 月 8 日(木)					

37	名 称	ISO9001 入門と要求事項の解説コース				分 野	ISO9001
略 称	Q入門	総日数	1 日間	参加費	【一般】 22,000 円	【会員】 18,000 円	
コースの概要	－ ISO9001 の全体像が理解できる！ 初めて ISO9001 に関わる方に！ － 初めて ISO 9001 にかかわる方、ISO9001 に興味をもたれた方を対象に、ISO9001 とは何か、QMS とは何か、QMS 認証制度のしくみ、規格要求事項のポイントなど、ISO9001 の基礎知識として必須となるポイントを説明し、1 日で全体像をつかんでいただくためのファーストステップ・コースです。人事異動等で推進リーダー・推進担当を引き継いだ方や、QMS に関わる部門に異動された方、他部門と兼務されて忙しい方にも受講しやすい 1 日コースです。						
コースの特徴	■ISO とは何か、認証制度のしくみなど ISO9001 の基礎知識として必須となるポイントをわかりやすく解説します。 ■ISO9001 の要求事項を、初心者にとって理解しにくい項目を中心に、具体例に基づいてわかりやすく解説します。 ■ISO9000 特有の専門用語をわかりやすく解説することにより、QMS がより身近に感じられるようになります。 ■ISO9000 の基本を理解していただくために、品質マネジメントの原則を具体的に解説します。						
第 3 回	【大 阪】	10 月 2 日(金)					

38	名 称	ISO9001 内部監査員 基礎コース				分 野	ISO9001
略 称	QAD	総日数	2 日間	参加費	【一般】 63,000 円	【会員】 55,000 円	
コースの概要	－ 内部監査員として必要な基礎知識・技能を短期間で習得できる！ － 「QMS とは何か」、「内部監査員に期待される役割は何か」などを理解し、必要な監査技能が習得できます。規格要求の逐条解説ではなく、実際の仕事と関連づけて規格の意図を理解する学習方法により、効果的に ISO 9001 のポイントをつかむことができ、自社の内部監査業務に適用できるようになります。グループ演習や実践的な内部監査のロールプレイを通じて確実に監査技能を身につけることができます。組織の QMS の有効性につながる監査が実施できる「即戦力」の監査員を養成します。						
コースの特徴	■実際の仕事、業務の実態と関連づけて効果的に規格要求事項の意図を理解できます。 ■自社の内部監査ですぐに使える「監査シナリオ」が設定された標準的なチェックリストを用いて監査を体験することで、実践的な監査技能が習得できます。 ■「押印もれ」といった現象面での不適合指摘から一歩踏み込み、マネジメント上の課題を検出する監査の視点を養います。						
第 6 回	【大 阪】	10 月 29 日(木)～30 日(金)					

39	名 称	ISO9001 内部監査員 スキルアップコース				分 野	ISO9001
略 称	QSKL	総日数	2 日間	参加費	【一般】 63,000 円	【会員】 55,000 円	
コースの概要	－ 構築したマネジメントシステムの有効性を高める「マネジメント監査の視点」を身につける！ － 各組織で内部監査員として活躍されている方を対象として、よりレベルの高い監査知識を習得し、監査技術を磨くことにより、組織全体として ISO 認証取得の効果を高めることができる監査チームリーダー向けのコースです。規格に対する適合性だけを見ていた従来型の内部監査から脱皮し、プロセスの構築とその有効性を主体に見ていく監査、すなわちプロセスアプローチ型の監査にステップアップするノウハウを習得することにより、QMS の有効性の継続的改善を実践できる内部監査員として活躍することができます。						
コースの特徴	■これまでとは違った視点・考え方の習得に焦点をあてたコースです。コースで学んだ事が、すぐに次の監査に活かれます。 ■構築した QMS が、有効に機能しているかを監査できる「プロセスアプローチ型の監査」の視点が身につきます。 ■力量のある内部監査員の育て方、QMS の有効性を高める構築のポイントが理解できます。 ■QMS の継続的な改善のノウハウを習得することで、経営に貢献できる監査を実施することができます。 ■JRCA 登録 CPD 対応コースです。[12 時間 15 分] (規格は 2015 年版を使用)						
第 4 回	【大 阪】	3 月 4 日(木)～5 日(金)					



【 社内セミナーなどのご案内 】

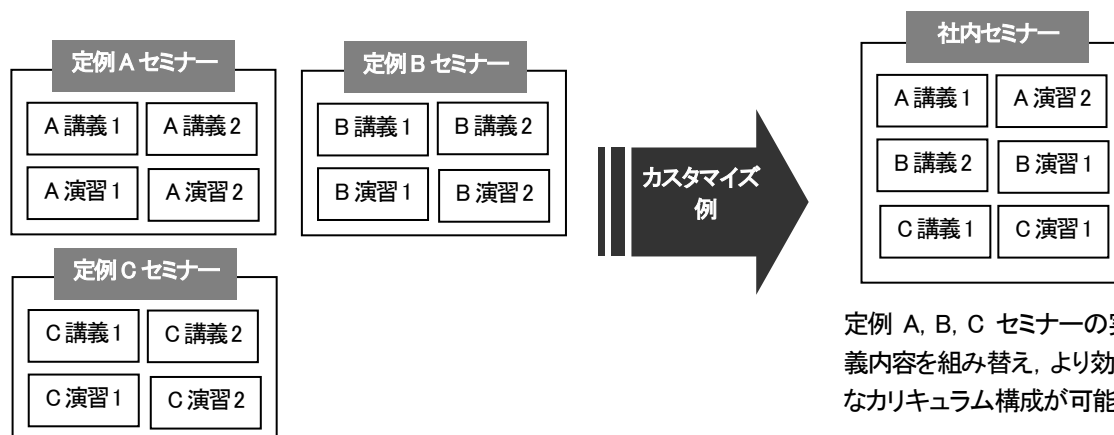
本教育案内に掲載の品質管理活動（総合的品質管理、統計的品質管理）、信頼性技法、応用統計解析（多変量解析、実験計画法）、QCサークル活動など日科技連が開催している各種定例セミナーを出張セミナー（社内研修）として開催いたします。また、企業・組織の社員教育のねらい・目的に沿って、各コースの教程・教科を各社の社内研修会のコースに組み替えて実施することが可能です。組織や職場の様々な問題・課題解決、人材育成、現場力強化にお役立てください。

【メリット】

- ★ 組織のねらい・目的に応じたカリキュラムで研修が実施できる。
- ★ 実施日程は自社の希望日で計画的に実施できる。
- ★ 自社（およびグループ企業）で開催できるので、社員の移動経費が削減できる。
- ★ 研修後、社内教育プログラムの体系化を構築できる。
- ★ 一度に多くの社員に教育ができ、コストダウンが図れる。

【実施例】

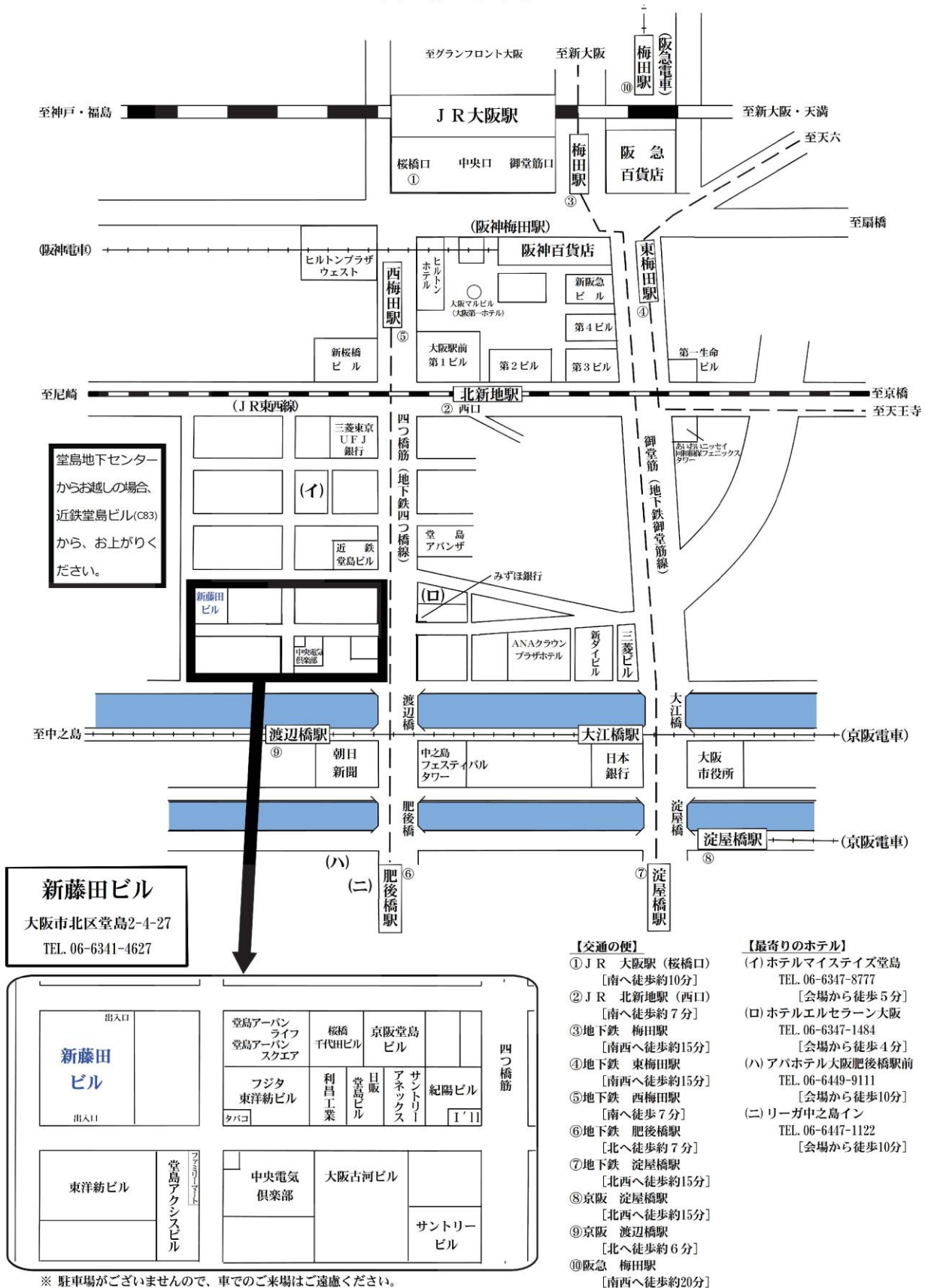
- ★ 品質管理セミナー部課長コース ★ 部課長のための方針管理・日常管理セミナー ★ 品質管理セミナーベーシックコース
- ★ 実験計画法セミナー ★ 多変量解析セミナー ★ 失敗学と創造学セミナー ★ QCサークルリーダーコース
- ★ 信頼性入門セミナー ★ なぜなぜ分析実践セミナー ★ ISO内部監査員研修コース



【社内研修の流れ】

ステップ	内 容	
教育の企画・立案・提案	ご相談・お問い合わせ	お電話、FAX、メール、ホームページなどからお気軽にお問い合わせください。
	研修のねらい・目的の確認	現状の実態、ねらい・目的などご依頼内容の確認。
	教育・研修企画のご提案	ご相談・ご依頼の内容に応じて研修企画・カリキュラム概要、指導講師をご提案いたします。
	費用お見積書提示	企画内容の費用のお見積りを提示いたします。
	正式ご依頼（お申し込み） テキスト・資料等準備	指導講師、開催日、開催場所、参加者数などを確認し、「セミナー・研修申込書」を頂戴いたします。 申込書を頂戴後、「研修業務等委託請負確認書」を送付します。
	テキスト・資料等準備	企画内容に基づきテキスト・資料の作成、選定、準備いたします。
教育の実施	教育の実施	当方のスタッフが準備や実施運営をサポートいたします。
	費用のご請求	教育・研修終了後、ご請求書を発行いたします。
教育のフォロー	教育研修の評価 今後のご提案	教育・研修の成果・効果をどのように実務に活用するかアドバイス・フォローいたします。 より発展的なステップに向けての企画・提案を承ります。

会場略図



一般用 参加申込書

※ 通信教育のお申込は、HP から専用の申込書をご利用ください。
日科技連・大阪事務所 <http://www.juse-osaka.com/>

セミナー名称					
回 数	第 回	開 催 地		賛助会員No.	

【参加者】

※ 下記コースへのお申込の場合、希望の方に〇印をつけてください

ふりがな 参加者名	記 載 欄			なぜなぜ A-KOMIK	
	事業所名				テキスト
	部課・役職名				
	郵便番号	T E L		要	
	所在地				不要
	事業所名				テキスト
	部課・役職名				
	郵便番号	T E L		要	
	所在地				不要
	事業所名				テキスト
	部課・役職名				
	郵便番号	T E L		要	
	所在地				不要
	事業所名				テキスト
	部課・役職名				
	郵便番号	T E L		要	
	所在地				不要

※ なぜなぜ : なぜなぜ分析2日間実践セミナー
A-KOMIK : 現場力強化のための人ミス未然防止セミナー

【連絡担当者】

会 社 名			
事業所名			
所属部課名			
役 職 名			
氏 名			
所 在 地	〒		
T E L		F A X	
E-m a i l			



2020年6月19日 発行

一般財団法人 日本科学技術連盟 大阪事務所

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル 11 階
TEL : 06-6341-4627 / FAX : 06-6341-4615 / e-mail : juseosaka@juse.or.jp